

## 『現代女性とキャリア』投稿規定ならびに執筆要項

(2011.10.25 委員会決定)

(2013.2.22 改訂)

### 【投稿規定】

1. 本誌は日本女子大学現代女性キャリア研究所の機関誌であって、原則として年一回発行とする。
2. 投稿資格は問わない。
3. 投稿のテーマは女性とキャリアに関する研究論文とする。この場合のキャリアとは職業経歴だけではなく、社会の中での女性の「生き方」としてとらえることとする。
4. 投稿された研究論文は編集委員会に受理された後、専門の査読委員の審査を受け、掲載の可否が決定される。
5. 投稿原稿は投稿規定を満たした未発表のものに限る。ただし、学会等で口頭で発表したものについては、その限りではない。また、他誌との二重投稿は認められない。
6. 投稿者は審査用原稿3部を2月末日（当日消印有効）までに、編集委員会事務局に郵送で提出する。原稿は執筆要項にしたがって、必ずパーソナル・コンピュータの文書ソフトで作成する。ただし、送付原稿には執筆者名、所属などは記載しない。
7. 投稿者は、論文返送用封筒（A4判が入る大きさの封筒に、返送先住所氏名を明記。切手は不要）、および以下の事項を記した別紙を、投稿論文と一緒に編集委員会事務局に郵送で提出する。また、別紙の内容を投稿と同時に電子メールの本文に記して編集委員会事務局に送信する（添付ファイルは不可）。電子メールを使っていない場合、その旨を別紙に明記する。
  - ① 氏名（ふりがな）
  - ② 住所・電話番号
  - ③ 所属・職名（院生等の別）
  - ④ 論文の題名
  - ⑤ 電子メールアドレス（ない場合はその旨を明記）
8. 論文の掲載を認められた投稿者は、指示にしたがって修正したうえ、完成原稿をメール添付もしくは内容を保存した電子媒体（CD-ROM等）を指定した期日までに提出する。完成原稿には、執筆者名、所属などを記載する。
9. 論文の掲載順序は編集委員会が決定する。
10. 期日までに当該年度の編集委員会事務局に郵送されなかった原稿は一切受理しない。
11. 本誌に掲載された論文の著作権はすべて本研究所に帰属し、本研究所ホームページを通して電子化・公開される。
12. 本誌を無断で複製あるいは転載することを禁ずる。



## 【執筆要項】

提出する原稿の形式は、以下の通りとする。

### 1. 執筆の形式

- (1) 日本語表記とし、A 4 判用紙を使用し、40 字× 40 行と設定し印字する（縦書きを希望する場合は要相談）。
- (2) 論文は脚注、文献、図表等を含めて 12 頁以内とする。

### 2. 要旨

タイトルの下に、英文タイトル、英文要旨（200 語程度）、キーワード 3 つ（日本語訳付）をつける。

ただし、英文以外の外国語が適当な場合は、理由を付して、他の外国語で付けても良い。

### 3. 本文

- (1) 章、節、項の区別は以下の通りとする。

章： 1. ～      2. ～      3. ～

節： (1) ～   (2) ～   (3) ～

項： 1) ～      2) ～      3) ～

- (2) 年号は西暦表記を基本とする。和暦を併記する場合は、1987（昭和 62）年とする。ただし、必要に応じて「昭和 50 年代」などの和暦表記を用いる。
- (3) アラビア数字やアルファベットは半角にする。
- (4) ( ) 「 」 『 』 等のかっこは全角にする
- (5) 句点と句読点は「、」「。」を用いることとする（英文要旨には「,」「.」を用いる）。

### 4. 図表等

- (1) 図・表等を挿入する場合、原稿の該当箇所に挿入もしくは添付する。
- (2) 他の著作物からの引用は、出典を明記し、必要に応じて著作権保持者から許可を得る。
- (3) 図、表は、それぞれ（図－1）（表－1）のように通し番号をつけ、タイトルをつける。

### 5. 脚注、文献

- (1) 脚注は該当箇所の右肩に（1）（2）（3）…を付し、注は本文末尾に一括する。
- (2) 引用・文献は、原則として次の方式によって記載する。

- ① 文献を一括してアルファベット順に並べたリストを作成し、末尾に付す。

文献注は、原則として文献リストへの参照指示という形で記す。すなわち、本文や注の該当箇所に、[ 著者名（姓のみ）西暦発行年「：」 ページ ] を記して、文献リストの該当文献の参照を指示する形式をとる。（事例）【加藤 2012：11-15】

- ② 欧文の場合は書名・雑誌名をイタリック体にする。



③ 文献の配列は原則として以下の方法により記入する。

- ・ 書 籍：著者名，出版年，『タイトルーサブタイトル』出版社名.
- ・ 雑 誌 論 文：著者名，出版年，「論文名」『掲載誌名』巻（号），pp. 掲載ページ.
- ・ 編 書 論 文：論文著者名，出版年，「論文名」編者名『編書タイトルーサブタイトル』出版社名，pp. 掲載ページ.
- ・ 翻 訳 書：著者ファミリーネーム，ファーストネーム他，出版年，タイトル：サブタイトル，出版地，出版社名。（＝出版年，訳者名『訳書タイトルーサブタイトル』出版社名）
- ・ 欧 文 書 籍：著者ファミリーネーム，ファーストネーム他，出版年，タイトル：サブタイトル，出版地，出版社.
- ・ 欧文雑誌論文：著者ファミリーネーム，ファーストネーム他，出版年，”論文タイトル：サブタイトル”，掲載誌タイトル：サブタイトル，巻（号），pp. 掲載ページ.

（事例）

Berger, P. L. & Luckman, T., 1966, *The social construction of reality: a treatise in the sociology of knowledge*, New York, Doubleday. (=2003, 山口節郎訳『現実の社会的構成：知識社会学論考』新曜社)

江原由美子, 2001, 『ジェンダー秩序』勁草書房.

Ferber, M.A., 1989, “Labor market participation of young married women: Causes and effects.” *Journal of Marriage and the Family*, 44(2), pp.457-468.

Garfinkel, H. 1967, *Studies in Ethnomethodology*, New Jersey, Prentice-Hall.

亀山佳明, 2000, 「社会化論を超えて」亀山佳明他編『野生の教育をめざして—子どもの社会化から超社会化へ』新曜社, pp.22-46.

上野千鶴子, 2008, 「家族の臨界—ケアの分配公正をめぐる—」『家族社会学研究』20 (1), pp.28-371.

- ④ 同一著者が同一年に発行した複数の文献は、発行年を 2009a、2009b のように表記して区別する。